じん肺法施行規則等の一部を改正する省令案について（概要）

1. 改正の趣旨

- 労働者の健康診断については、以下の規定において、事業者に対し、記録の作成及びその保存が義務付けられている。
 - ・ じん肺法（昭和 35 年法律第 30 号）第 17 条
 - ・ 炭鉱災害による一酸化炭素中毒症に関する特別措置法（昭和 42 年法律第 92 号。以下「C0 中毒法」という。）第 5 条第 4 項
 - ・ 労働安全衛生法（昭和 47 年法律第 57 号。以下「安衛法」という。）第 66 条の 3
- また、労働者の健康診断に係る結果又は実施状況については、以下の規定において、事業者に対し、所轄労働基準監督署長等への報告が義務付けられている。
 - ・ じん肺法第 44 条及びじん肺法施行規則（昭和 35 年労働省令第 6 号。以下「じん肺則」という。）第 37 条
 - ・ 安衛法第 100 条並びに労働安全衛生規則（昭和 47 年労働省令第 32 号。以下「安衛則」という。）第 52 条及び第 52 条の 21
- さらに、安衛法第 67 条第 1 項の健康管理手帳を所持している者に対する健康診断の結果については、安衛則第 57 条第 3 項において、当該健康診断を実施した医療機関に対し、都道府県労働局長への報告が義務付けられている。
- 今般、健康診断結果個人票の電子化及び事業者による電子申請の促進の観点から、これらの健康診断に係る健康診断結果個人票、健康診断結果報告書等の様式中、医師、歯科医師又は産業医の押印を求めないものとするとし、じん肺則等において所要の改正を行う。

2. 改正の内容

- (1) じん肺則等（※ 1）の健康診断結果の個人票について、医師又は歯科医師の押印を不要とする。
- (2) じん肺則等（※ 2）の健康診断結果等の報告書について、産業医の押印を不要とする。
- (3) その他、所要の規定の整備を行う。

※ 1 C0 中毒法施行規則、安衛則、有機溶剤中毒予防規則（昭和 47 年労働省令第 36 号。以下「有機則」という。）、鉛中毒予防規則（昭和 47 年労働省令第 37 号。以下「鉛則」という。）、四アルキル鉛中毒予防規則（昭和 47 年労働省令第 38 号。以下「四鉛則」という。）、特定化学物質障害予防規則（昭和 47 年労働省令第 39 号。以下「特化則」という。）、高気圧作業安全衛生規則（昭和 47 年労働省令第 40 号。以下「高圧則」という。）、電離放射線障害防止規則（昭和 47 年労働省令第 41 号。以下「電離則」という。）、石綿障害予防規則（平成 17 年厚生労働省令第 21 号。以下「石綿則」という。）及び東日本大震災により生じた放射性物質により汚染された土壌等を除染するための業務等に係る電離放射線障害防止規則（平成 23 年厚生労働省令第 152 号。以下「除染則」という。）

※ 2 安衛則、有機則、鉛則、四鉛則、特化則、高圧則、電離則、石綿則及び除染則

3. 根拠法令

じん肺法第 12 条、第 15 条第 2 項（同法第 16 条第 2 項において準用する場合を含む。）、第 17 条第 1 項及び第 44 条、C0 中毒法第 5 条第 3 項ただし書及び第 4 項並びに安衛法第 66 条の 3、第 67 条第 4 項、第 100 条第 1 項及び第 103 条第 1 項

4. 公布日等

公布日 : 令和2年8月(予定)

施行期日 : 公布の日